

# 令和5年度指定管理業務に関する事業報告書（デイ）

施設名 京都市出水老人デイサービスセンター

## 1 施設の管理運営

- ・介護保険法に基づく通所介護事業の実施
- ・京都市総合事業（介護予防・日常生活支援総合事業）の実施
- ・京都市配食サービス事業の受託（独居の要支援・要介護高齢者等に対する昼食サービス）

## 2 事業実施内容

- (1) 指定管理業務（本来業務：老人デイサービスセンター）
- ・事業実施に伴うサービス提供
  - ・日曜日と年末年始（12/31～1/3）を除く毎日開所
  - ・法人研修（新任職員研修・感染症対策研修、自立支援研修、認知症研修、高齢者虐待防止研修等）
  - ・介護等体験の受入、看護実習の受入
  - ・上京区内の事業所との連携（連絡会議や各種研修等への参加）
  - ・上京区内社協施設との協働事業（上京ふれあいまつり等地域行事への参加）
  - ・出水学区夏祭りへの参画
  - ・地域女性会や地元保育園等との交流
  - ・京都市配食サービス事業（月～金曜日：昼食）
  - ・居宅介護支援（月～土曜日）

(2) 指定管理業務（企画提案業務：指定管理者が提案し、施設内で実施している業務。例：配食サービス）

## 3 サービス提供状況

### 【職員体制】

- ・管理者 1 名
- ・生活相談員 2 名
- ・介護職員 10 名
- ・看護職員 4 名（機能訓練指導員兼務）
- ・運転手 7 名
- ・調理員 5 名
- ・介護アシスタント 1 名

再委託の実施状況（協定書に明記のない再委託業務）は、以下の通り。（例：給食調理業務）

・

・

## 4 市内中小企業への発注に対する考え方

本会においては、本会経理規程により、100万円以上に関しては、一般競争入札に付することとし、100万円未満の委託業務に関しては、随意契約としています。一般競争入札の場合は、市内中小企業も含めて広く公募し、随意契約では、市内中小企業にも配慮し、見積り合わせ行っています。

## 5 施設の利用状況（本来業務に係る施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など）

### (1)延べ利用者数

①令和5年度実績値  人

②令和6年度目標値  人

### (2)実利用者数

①令和5年度実績値  人

②令和6年度目標値  人

(3) 収支実績

ア 本来業務（老人デイサービスセンター）

介護保険収入	109,436,897
利用料収入	8,776,733
委託料収入	
補助金収入	
寄付金収入	
雑収入	
その他	30,553,642
収入計	148,767,272

令和5年度収入状況及び支出の状況（単位：円）

人件費	104,891,932
事業費	18,097,994
委託費	
小額修繕費	
その他	25,771,906
支出計	148,761,832

## 6 施設の利用者満足度の把握

### (1) 利用者満足度の把握状況

令和6年1月に法人統一様式で全利用者を対象にユーザーアンケートを実施。事業所より説明の上、配布し、無記名で法人事務局宛の返送による回収を行い回収率は52.9%でした。

### (2) 利用者満足度把握の結果

【利用全般】	満足：85%	やや満足：11%	やや不満：0%	不満：0%	無記入：4%
【送迎】	満足：96%	やや満足：4%	やや不満：0%	不満：0%	無記入：0%
【入浴】	満足：74%	やや満足：20%	やや不満：0%	不満：0%	無記入：6%
【食事】	満足：76%	やや満足：18%	やや不満：4%	不満：0%	無記入：2%
【レクリエーション】	満足：65%	やや満足：24%	やや不満：0%	不満：0%	無記入：11%
【機能訓練】	満足：50%	やや満足：31%	やや不満：6%	不満：2%	無記入：11%

### (3) 意見等への主な対応状況

寄せられたご意見を基に、サービス向上検討委員会にて、アンケートの集計と要望への回答をまとめ、ご利用者、ご家族様に配布しました。

## 7 その他特記事項

### (1)

・併設事業所（居宅介護支援）との協力や連携を目的に合同でのサービス向上会議や研修等を開催しました。  
・施設の広報誌として『出水ミニ通信』を毎月発行し、事業所の紹介を行い、玄関前にある掲示板にも掲示する事で、地域の方に施設の様子を伝えられるよう努めています。

### (2)

コロナの影響により自粛となっていた出水学区の夏祭りが4年振りに再開となり、事業所としても感染対策に留意の元、参画させていただきました。  
また地域女性会の方々にご訪問いただき、交流・活動の機会を設けています。

## 8 評価（指定管理者自己評価）

柔軟に対応できる事業所として様々なご利用者のお受け入れに努め、昨年度よりも多くの方にご利用いただくことができました。中重度者や医療的ケアを必要とする方も多くご利用いただいております、ご家族の負担軽減にも着目しながら、住み慣れた地域での生活を継続していただけるよう、支援に努めさせていただきました。

また、知識や技術、広い視野をもち行動できるよう、ご利用者、ご家族から頂戴したご意見をもとに、サービス向上検討委員会、各種会議にて研修を行い、サービスの向上に努めています。

地域に根差した事業所として、関係機関と密接に連携し信頼関係を構築し、今後も安心できるサービスを提供するため、人材育成、質の向上の取組、障がい理由とする差別の解消に向けた職員研修にも取り組んでいきます。